

様式第2号(第7条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称		令和元年度第2回川島町子ども・子育て会議
開 催 日 時		令和元年9月27日(金)午前10時～正午
開 催 場 所		役場庁舎2階 大会議室
議 題		(1) 第2期 川島町子ども・子育て支援事業計画策定について (2) 川島町子ども・子育て支援事業における量の見込みと確保方策について (3) その他
公開・非公開の別		公開(傍聴人0名)
出席者	委 員 (敬称略)	中谷 茂一、山口 三葉子、石川 勉、笛木 哲、池田 孝司、石川 まり子、鈴木 義宏、廣江 喜美江、丸山 律子、 笛木 正司、高柳 香菜
	その他関係者 (敬称略)	地域計画株式会社 福田 圭一 (川島町子ども・子育て支援事業計画策定業務委託業者)
	事務局職員	子育て支援課 関 吉治、小林 覚、牛村克彦、小島秀夫
配 布 資 料		<p>【配布資料】</p> <p>資料① 令和元年度第2回川島町子ども・子育て会議次第 資料② 令和元年度第2回川島町子ども・子育て会議スライド(資料1) 資料③ 川島町子ども・子育て支援事業における量の見込みと確保方策について(資料2)</p> <p>【事前配布資料】</p> <p>資料④ 川島町 子ども・子育て支援に関するアンケート調査(就学前児童世帯調査) 資料⑤ 川島町 子ども・子育て支援に関するアンケート調査(就学児童世帯調査) 資料⑥ 川島町 子ども・子育て支援に関するニーズ調査用語解説及び事業説明 資料⑦ 川島町 子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書(案) 資料⑧ 川島町 子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書【その他・記述集】(案)</p>
審議会等の内容・概要		
<p>1 開会 小林 2 あいさつ 中谷会長 3 議題 (1) 第2期川島町子ども・子育て支援事業計画策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、前回に引き続き、第2期川島町子ども・子育て支援事業計画策定のための経過の報告を行いました。 ・令和元年7月5日から17日にかけて、計画策定のため、アンケート調査を実施し 		

ました。その結果を集計した内容について報告を行いました。

また、アンケートや利用実績、人口推計を基に量の見込み（ニーズ）と確保方策（受け入れ枠）を算定し、計画として策定していく旨やその算定方法を説明しました。

(2) 川島町子ども・子育て支援事業における量の見込みと確保方策について

- ・議題1で説明した量の見込み、確保方策について、算定した数値を説明し、各委員より意見を求めました。

(3) その他

- ・本日の会議及び会議録は公開かつ会議録は要点筆記である旨を説明しました。
- ・会議録の署名委員は山口委員と笛木委員に依頼しました。
- ・第2回会議は10月下旬に実施予定。
- ・今年度川島町子育て支援総合センター「かわみんハウス」の指定管理契約が終わるため、新しい業者の選定を行う必要があり、その選定委員として、川島町子ども・子育て会議委員のうち、何名かにも参加をしてもらいたいと考えている旨を説明しました。

8 閉会 小林

ご意見まとめ

(1) 第2期川島町子ども・子育て支援事業計画策定について

【委員】 資料1の9, 10ページについて、このページのタイトルにイメージと記載されていますが、ここに記載されている数字はアンケートを基にして算出した実数ではない数字ということで良いのでしょうか。

【事務局】 ご指摘のとおりです。こちらに記載されている数字は実数ではありません。計算方法等をわかりやすく説明するための資料であり、アンケート等を基にして算出した数字は議題2で資料2を用いて説明します。

【委員】 人口推計はどこから提供してもらった数字でしょうか。

【事務局】 こちらの数字は町民生活課より提供していただいた数字を基にしています。

【会長】 アンケートについて、回収方法を変えたことで前回よりも良い回収率となり、町民の意見をより反映できたことは非常に良かったと思います。

(2) 川島町子ども・子育て支援事業における量の見込みと確保方策について

【委員】 資料2 3ページ(1) 教育にかかる施設型給付の確保方策について、町内幼稚園はとねがわ幼稚園を指しているということと説明がありましたが、この内容をみるに、とねがわ幼稚園の受け入れ人数は今後5年間は減らさない方針ということでよろしいのでしょうか。

【事務局】 ご指摘のとおり、現在のところ、受け入れ人数を維持する予定です。

【会長】 見込みより確保方策が大きいですが無償化に伴い、利用希望が増える可能性もあるのでご注意いただきたいです。

【会長】 資料2 4ページ(2) 保育にかかる施設型給付の確保方策について、特に3号認定(0歳～2歳)の量の見込みと確保方策の差がほとんどありませんが見込みの数字がこれ以上増加した場合の対応策は考えているのでしょうか。

【事務局】 町内の地域型保育事業の事業所内保育を実施している、あすか川島保育園について、施設全体の枠が12人まで、職員枠8人、町民枠4人となっています。0歳～2歳を対象として受け入れが可能となっている施設のため、今後、町民枠の増加や、職員枠が満たされていない場合について、受け入れること

が可能か協議いたします。

- 【委員】資料2 7ページ(2) 地域子育て支援拠点事業の量の見込みについて、アンケートの数値を参考として算出した数値なのでしょうか。
- 【事務局】アンケート結果から算出した量の見込みですと600人~700人と実績と比べて極端に少ない数字になってしまうため、現在の利用実績を基に算出しています。
- 【会長】実績表の利用人数は町外の利用者も含まれている数字となっているのでしょうか。
- 【事務局】こちらに計上しているのは町民の利用者のみです。
- 【会長】資料2 8ページ(4) 乳児家庭全戸訪問事業の事業内容について、生後4か月までの児童を訪問となっていますが実際はどのくらいの児童が対象でしょうか。
- 【事務局】生後2~4か月の児童を対象に実施しています。
- 【委員】資料2 9ページ(5) 養育支援訪問事業の事業内容について、「川島町では実施されておりません」となっていますが同内容の別事業で実施しているとはどういうことでしょうか。
- 【事務局】国補助金の対象事業としての養育支援訪問事業は国基準を満たしておらず、同内容の母子健康事業という事業を町独自で行っているということです。説明がわかりにくいいため、文言を修正します。
- 【会長】表記表現にはご注意ください。また、ここまでの記載内容全てに係る提案ですが、訪問件数は延べ件数であるならば、『延べ』と記載した方がよいと思います。
- 【事務局】各内容を確認し、対応したいと思います。
- 【会長】資料2 10ページ(6) 子育て短期支援事業について、現在川島町の利用ニーズもないため実施は行わない方針と説明がありましたが、県内全域を見ても実施している市町村は少なく、今後ニーズが出た場合に備えて対応方法は検討してほしいと思います。
- 【委員】資料2 10ページ(7) ファミリー・サポート・センター事業の見込みと確保方策について、算定されている数字は実績を基にしているとの事ですが、この実績のうち、未就学児の利用者と小学生の利用者は、それぞれどの程度利用していたのでしょうか。
- 【事務局】平成30年度実績としましては、それぞれ延べ件数で未就学利用者が28件、小学生利用者131件合計159件の利用がありました。
- 【委員】当初(平成26年度~平成28年度)の利用者が少ないのはなぜでしょうか。
- 【事務局】平成26年から始めた事業ですが、平成26・27年はサポーター(預かる側)の人数増加に努めたため、ほとんど利用がありませんでした。体制が整い始めた平成28年より本格的に周知・活動できるようになったことにより利用者が急増しました。
- 【会長】現時点でのサポーターの登録者は何名でしょうか。
- 【事務局】8名の方に登録いただいています。
- 【会長】潜在ニーズは高い事業であるはずなので、サポーターの育成は今後の課題と思います。
- 【事務局】資料2 11ページ(8) 一時預かり事業について、ニーズ調査の内容に基づいて算出した案①と実績に基づいて算出した案②の2案を提案させていただきました。どちらの案を採用するかご意見をいただきたいです。

【会 長】実績に基づいており、確保方策の数字が高い案②が適切であると考えますが他の委員のご意見はいかがでしょう。

→異議なしのため案②を採用します

【委 員】一時預かり事業の単位は『人日』ではなく『件』でよいのではないのでしょうか。また、幼稚園の利用件数は、預かり保育の実績値でしょうか。保育園の利用件数はリフレッシュ保育（母親の私的外出のための保育利用）の件数を含んでいるのでしょうか。

【事務局】単位については検討し対応します。幼稚園の利用件数は、預かり保育の実績値となります。保育園の利用内容は、リフレッシュ保育の件数も含まれた数字となっています。

【委 員】一時預かり事業の1日あたりの預かり可能の限度人数と職員配置人数はどのようになっているのでしょうか。保育園と幼稚園の確保方策については別々に明記していただきたいです。できれば今問い合わせた1日あたりの預かり可能の限度人数と職員配置人数についても記載をお願いしたいです。

【事務局】1日あたりの預かりについてですが、保育園については1日の定員10人、職員2人で対応しております。幼稚園については1教室30名定員、職員2人で平日1教室、夏休み2教室で対応しております。

量の見込み、確保方策については、年間の単位で算出しているため、1日あたりの預かり可能の限度人数等については、川島町子ども・子育て支援事業計画内には、掲載いたしません、事務局資料として把握いたします。

【委 員】資料2 13ページ（10）病児・病後児保育事業について、平成30年度の実績としてはどこの施設に預けたのでしょうか。また、確保方策で200件となっていますがどこの施設で病児・病後児保育を行うことを想定しているのでしょうか。

【事務局】利用実績としては、東松山市のほしこどもおとなクリニックで行っている病児保育で保育された児童数です。確保方策については、今年度より病児・病後児保育施設を利用する方に対し、費用の一部を助成するため、その利用見込み人数200件分を計上しています。

【委 員】病児・病後児保育施設と補助事業内容について、周知しているのでしょうか。

【事務局】対象施設、利用者に対し周知させていただきます。

【委 員】町民が利用しやすい環境を整えるため、すぐ使えるようにどこの施設で使えるのか把握し周知していただきたいです。

【会 長】ニーズがないということはない事業なので引き続き整備し、対応していただきたいです。

【会 長】資料2 14ページ（11）放課後児童クラブ事業について、ニーズ調査でも希望が高い事業だと思います。今後も柔軟に対応していただきたいと思えます。

(3) その他

質疑なし

署 名

山口 三葉子



田 本 正 司

